

平成26年度

# 草加市民アンケート

《概要版》

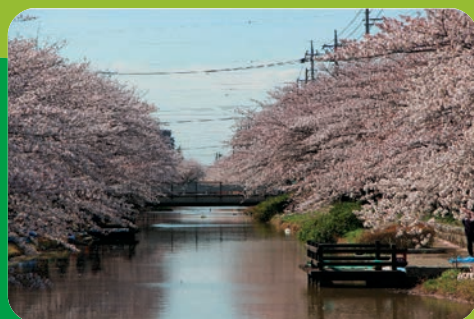
市民の皆様に草加市の今、そしてこれからについてお聞きしました。



草加市観光大使  
パリポリくん

草加市に……

住み続けたい 81.5%



便利だ 66.2%

暮らしやすい 60.5%



「おくのほそ道の風景地 草加松原」が  
国の指定名勝になったことを……

知っている 74.4%

# 1 市のイメージ



## 市についてどのようなイメージを持っていますか？

草加市全体とお住まいの地域のイメージについて、それぞれお聞きしました。(回答者数1,988人)

- 市全体のイメージは、1位「便利だ」、2位「文化・歴史がある」、3位「よい環境・自然がある」
- 各地域のイメージは、「便利だ」「よい環境・自然がある」「あたたかみがある」「安全・安心だ」等が上位に

各地域のイメージを1～3位の順に並べました

草加市全体		
1位	便利だ	66.2%
2位	文化・歴史がある	62.5%
3位	よい環境・自然がある	50.6%

草加川柳		
1位	よい環境・自然がある	
2位	あたたかみがある	
3位	安全・安心だ	

新田西部		
1位	便利だ	
2位	よい環境・自然がある	
3位	安全・安心だ	

新田東部		
1位	便利だ	
2位	よい環境・自然がある	
3位	あたたかみがある	

草加安行		
1位	便利だ	
2位	安全・安心だ	
3位	よい環境・自然がある	

草加西部		
1位	便利だ	
2位	明るい	
3位	快適だ	

草加味溜荷		
1位	よい環境・自然がある	
2位	明るい	
3位	あたたかみがある	

草加東部		
1位	便利だ	
2位	安全・安心だ	
3位	あたたかみがある	

谷塚西部		
1位	安全・安心だ	
2位	便利だ	
3位	あたたかみがある	

谷塚中央		
1位	便利だ	
2位	安全・安心だ	
3位	あたたかみがある	

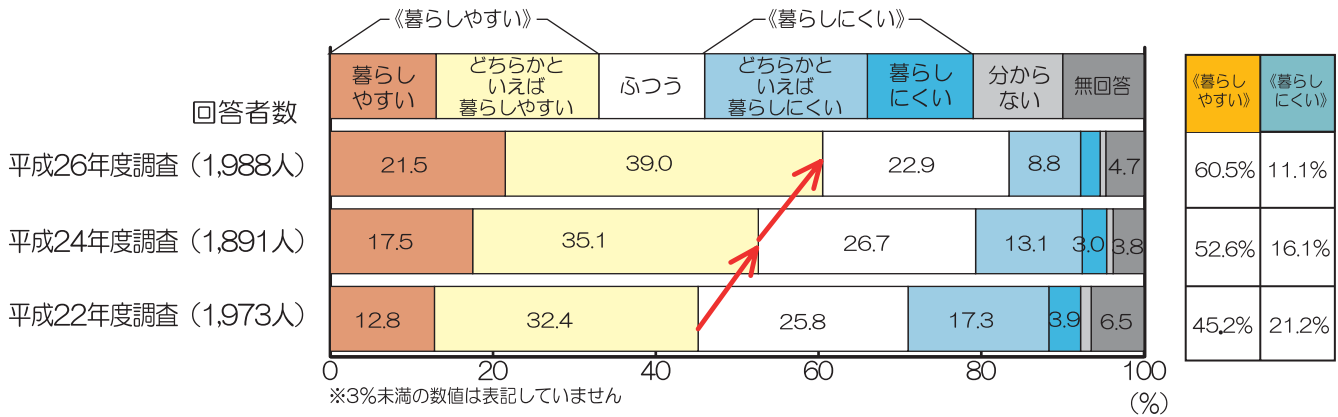
谷塚東部		
1位	便利だ	
2位	安全・安心だ	
3位	あたたかみがある	

# 2 市の暮らしやすさ・定住意向



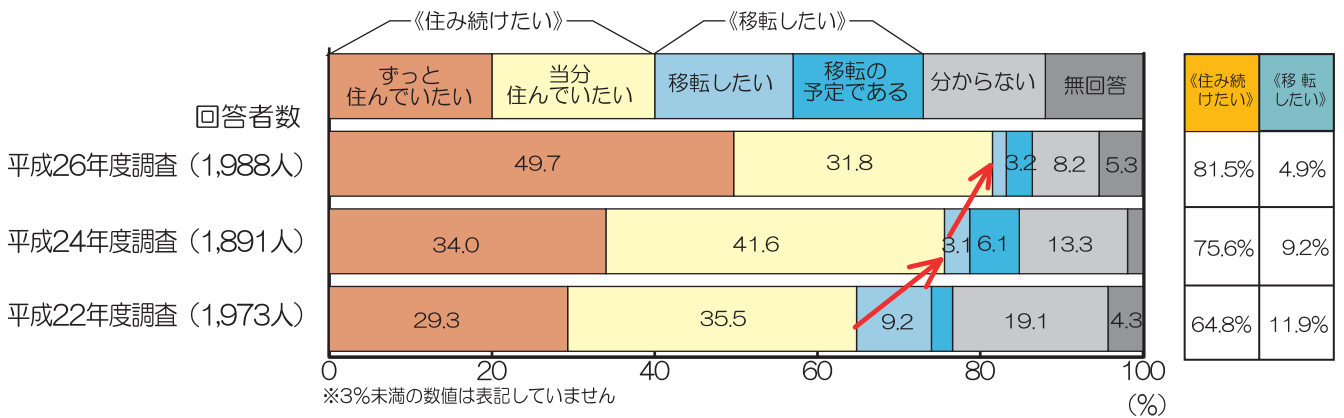
## 草加市は暮らしやすいですか？

○《暮らしやすい》が前回調査（平成24年度）より増えています。



## 草加市に住み続けたいと思いますか？

○《住み続けたい》が前回調査（平成24年度）より増えています。

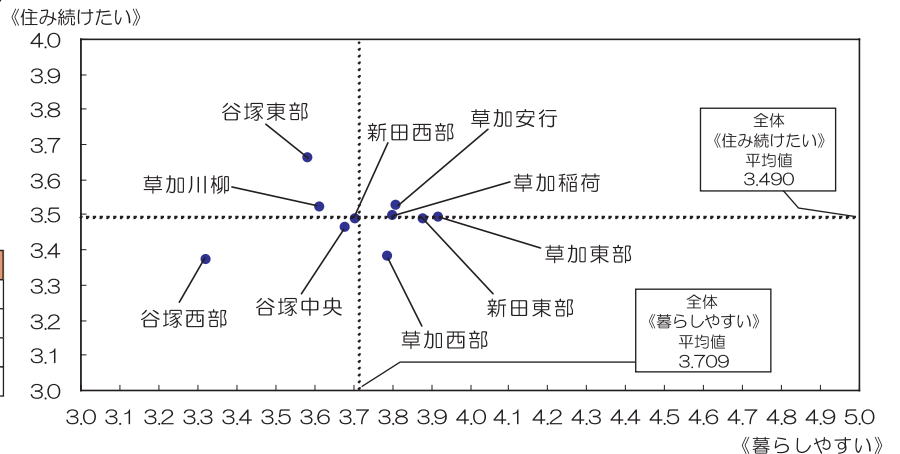


### 地域別：暮らしやすさ・定住意向相関図

※回答を点数に直し、各地区の平均点を算出しています。

「草加稲荷」「草加安行」「草加東部」が《暮らしやすい》《住み続けたい》の両方で平均点を超えています。「新田西部」はどちらの指標でも、ほぼ平均点となっています。

選択肢	点数	選択肢	点数
暮らしやすい	5	ずっと住んでいたい	4
どちらかという暮らしやすい	4	当分住んでいたい	3
普通	3	移転の予定である	2
どちらかという暮らしにくい	2	移転したい	1
暮らしにくい	1		



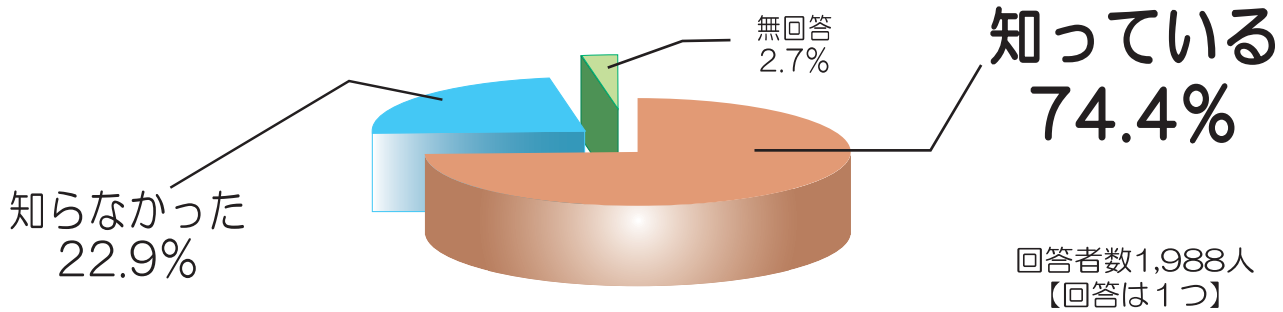
# 3 国指定名勝 「おくのほそ道の風景地 草加松原」



「おくのほそ道の風景地 草加松原」が国指定名勝になったことをご存じですか？

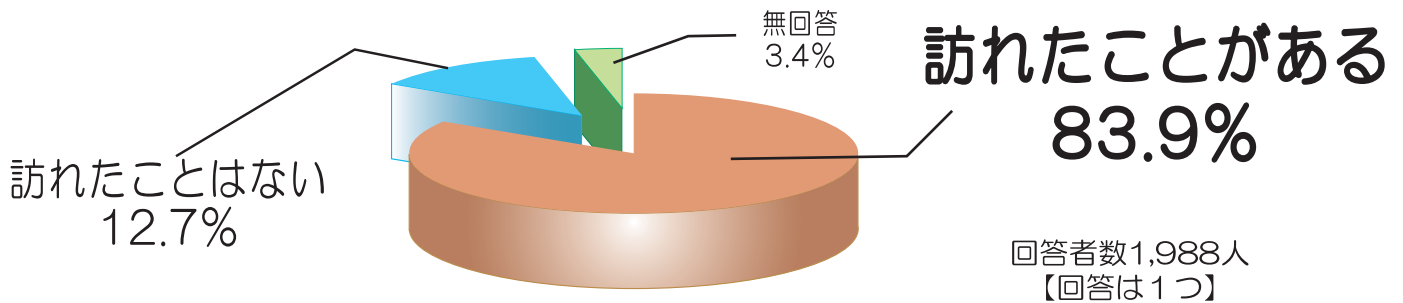
平成26年3月に、松尾芭蕉も訪れた「おくのほそ道の風景地 草加松原」が国指定名勝になりました。そのことについてご存じかどうかをお聞きしました。

○およそ4人中3人が「知っている」と答えています。



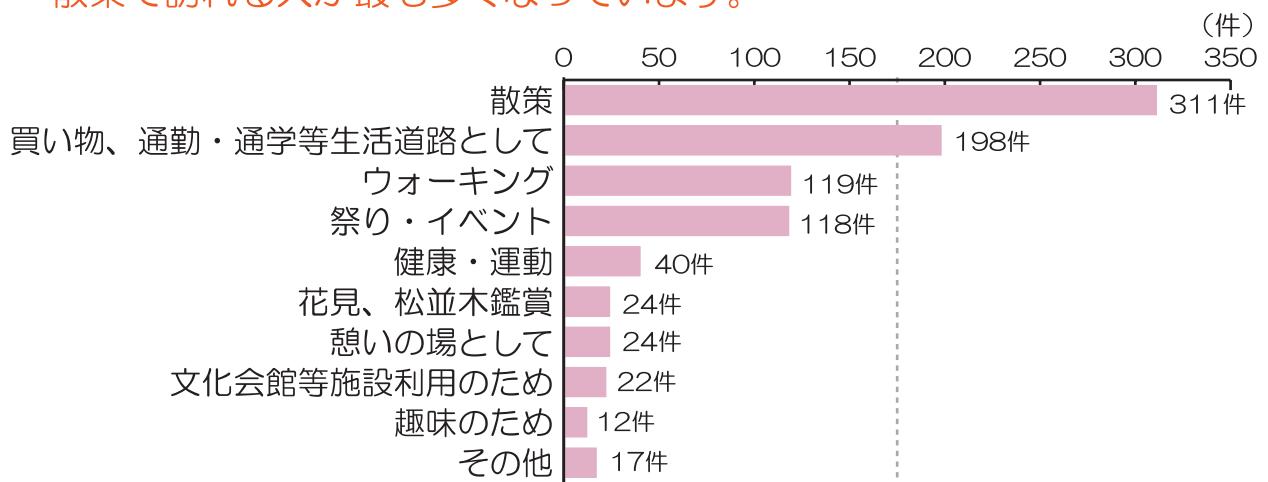
「草加松原」を訪れたことがありますか？

○8割以上の方が訪れています。



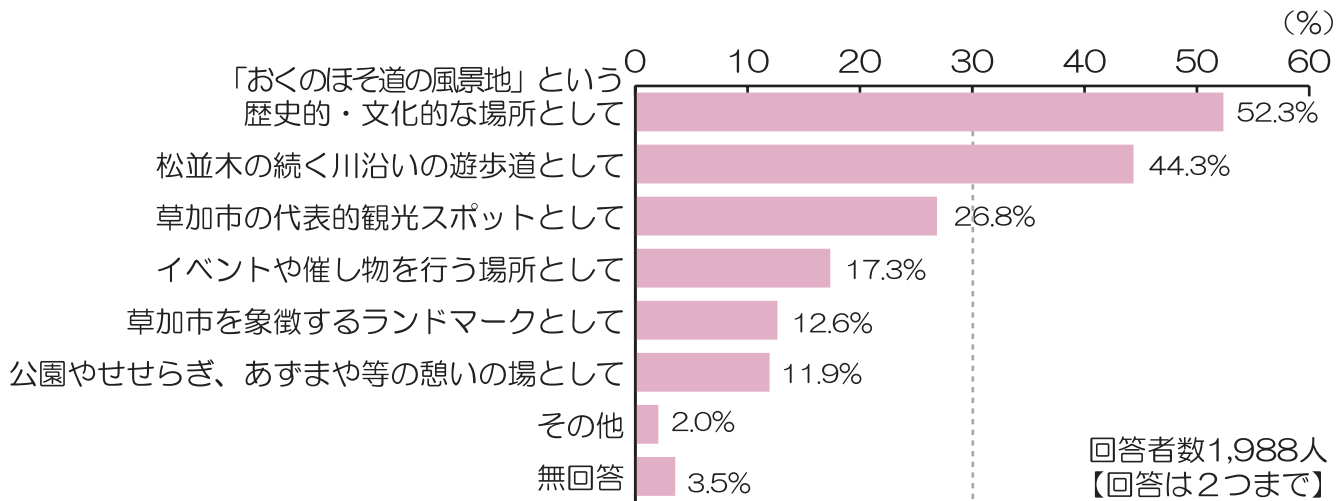
「草加松原」を訪れた目的は何ですか？

○散策で訪れる人が最も多くなっています。



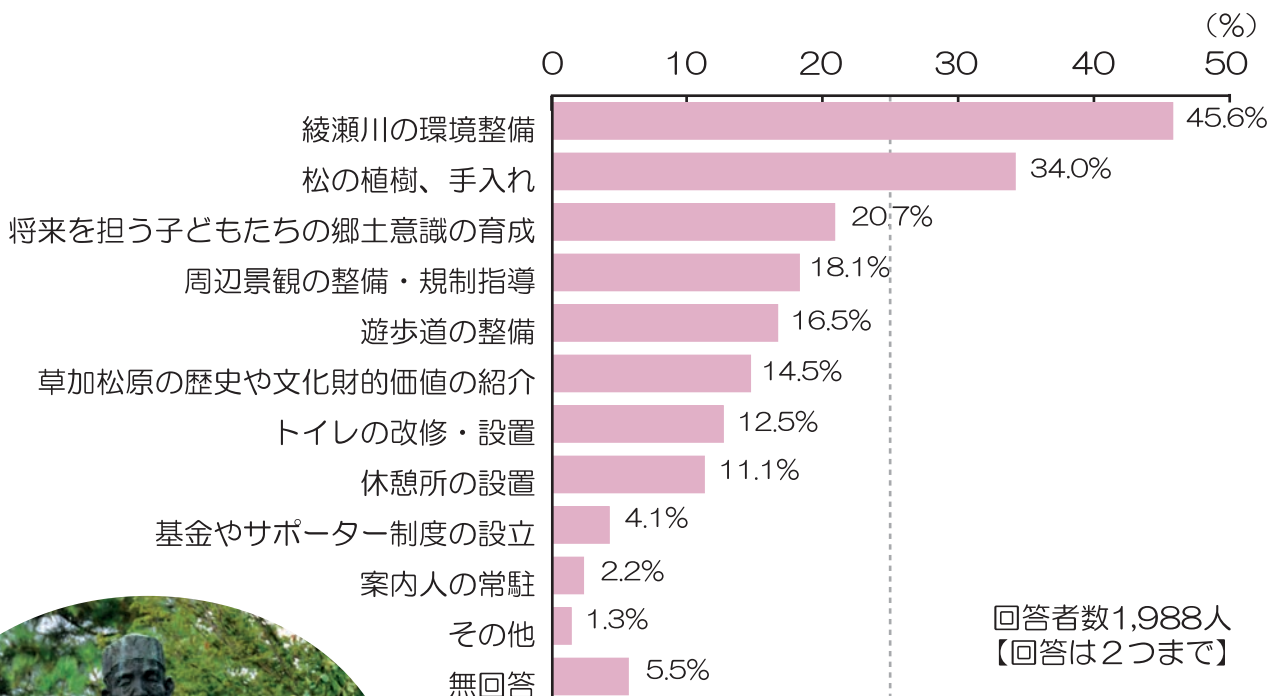
# どんな風に「草加松原」をアピールするといいですか？

- 歴史的・文化的な場所としてが50%以上
- 遊歩道や観光スポットとしてとの意見が続いています。



# 「草加松原」を未永く保っていくには何が必要ですか？

- 綾瀬川的环境整備や松の手入れなどの「草加松原」の整備・保全に続き、将来を担う子どもたちの郷土意識の育成が必要とされています。



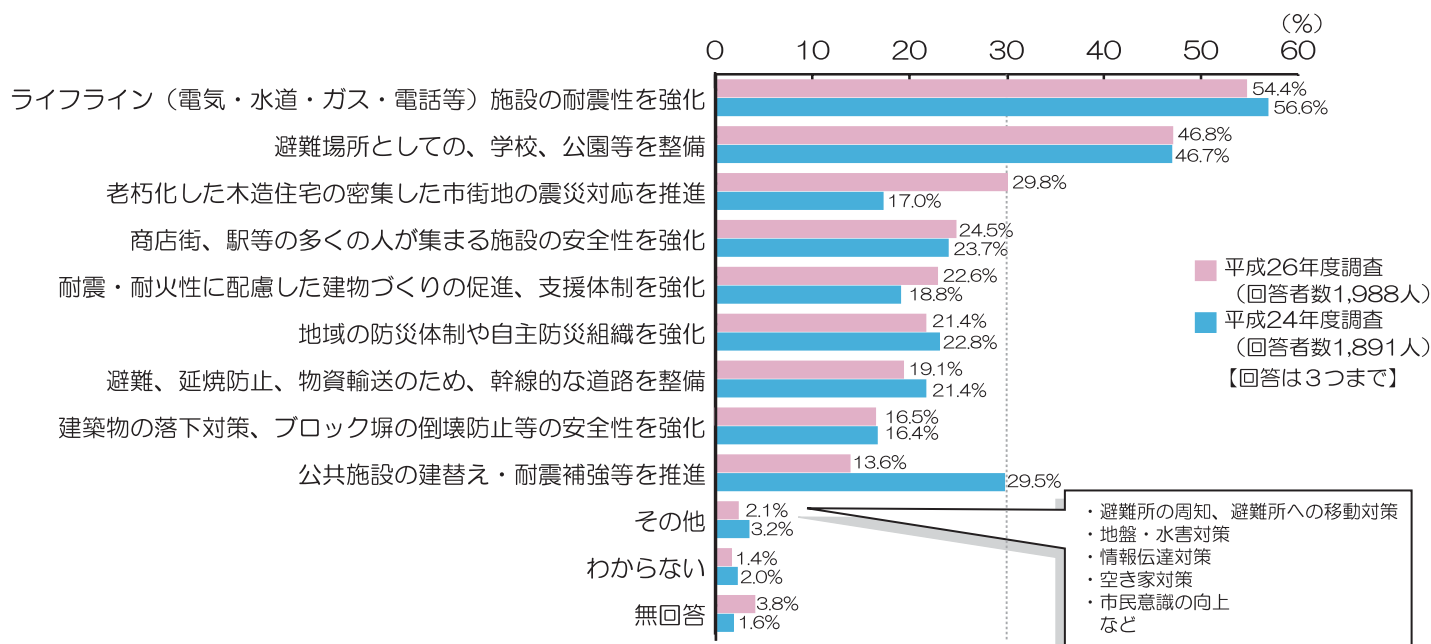
# 4 防災意識



## 地震に強いまちづくりのためにどうしたらいいですか？

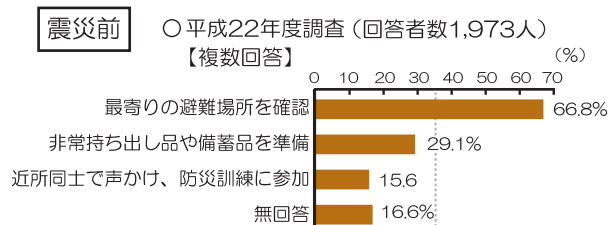
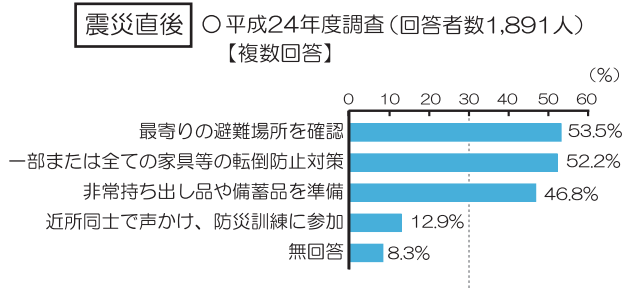
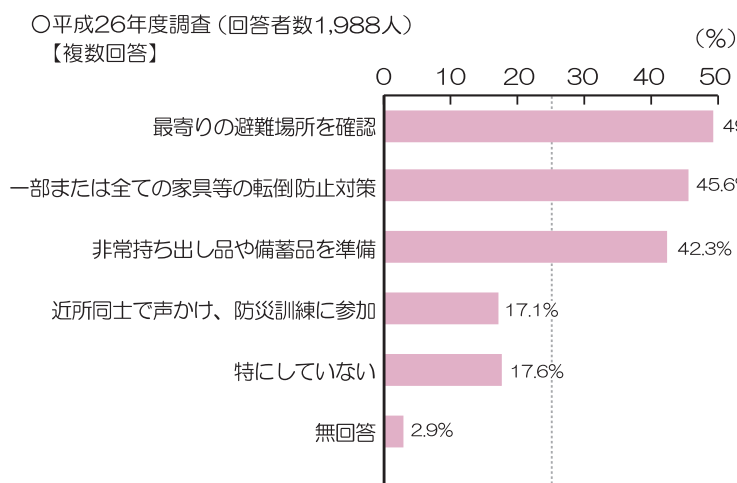
東日本大震災から3年が経ち、防災に対する意識がどのように変化したのかを調査しました。

○公共施設から一般住宅の耐震化へと関心の重点が移っています。  
 (小中学校の耐震化は平成25年度に終了しています)



## 災害に備えてどのような対策をしていますか？

○震災直後の前回調査（平成24年度）から、防災に対する意識は依然として高くなっています。地域での助け合い、防災訓練への意識が上がっています。



# 5 市の施策の満足度・重要度

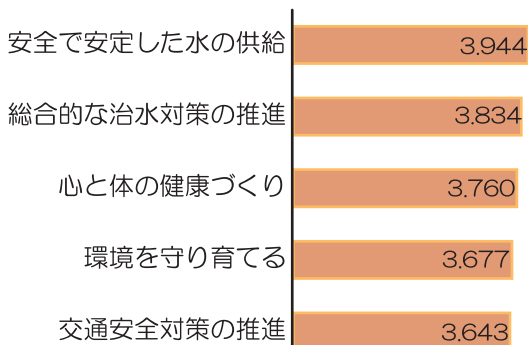


## 草加市の基本となる34施策の満足度・重要度は？

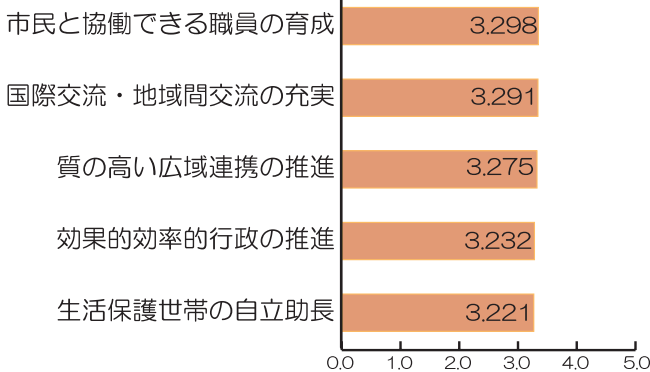
市が「快適都市—草加—」の実現に向けて取り組んでいる34の施策について、“満足度”と“重要度”をお聞きしました。

### 満足度

#### 平均点の高い上位5位

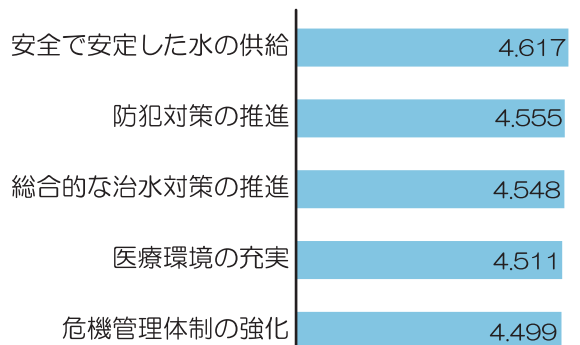


#### 平均点の低い下位5位

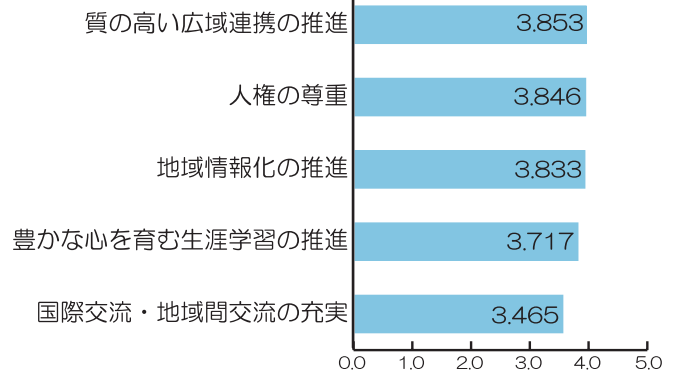


### 重要度

#### 平均点の高い上位5位



#### 平均点の低い下位5位



「安全で安定した水の供給」が満足度・重要度ともに最も高くなっています。前回調査（平成24年度）より、ほぼ全ての項目で満足度・重要度が上がっています。

#### ※満足度・重要度の平均点の計算方法

「満足」から「不満足」、「重要」から「重要ではない」までの5段階の回答を5～1の点数に直し、施策ごとの合計点を回答者で除したものを平均点とした。

選 択 肢		点数
満足	重要	5
やや満足	やや重要	4
どちらともいえない	どちらともいえない	3
やや不満足	あまり重要ではない	2
不満足	重要ではない	1

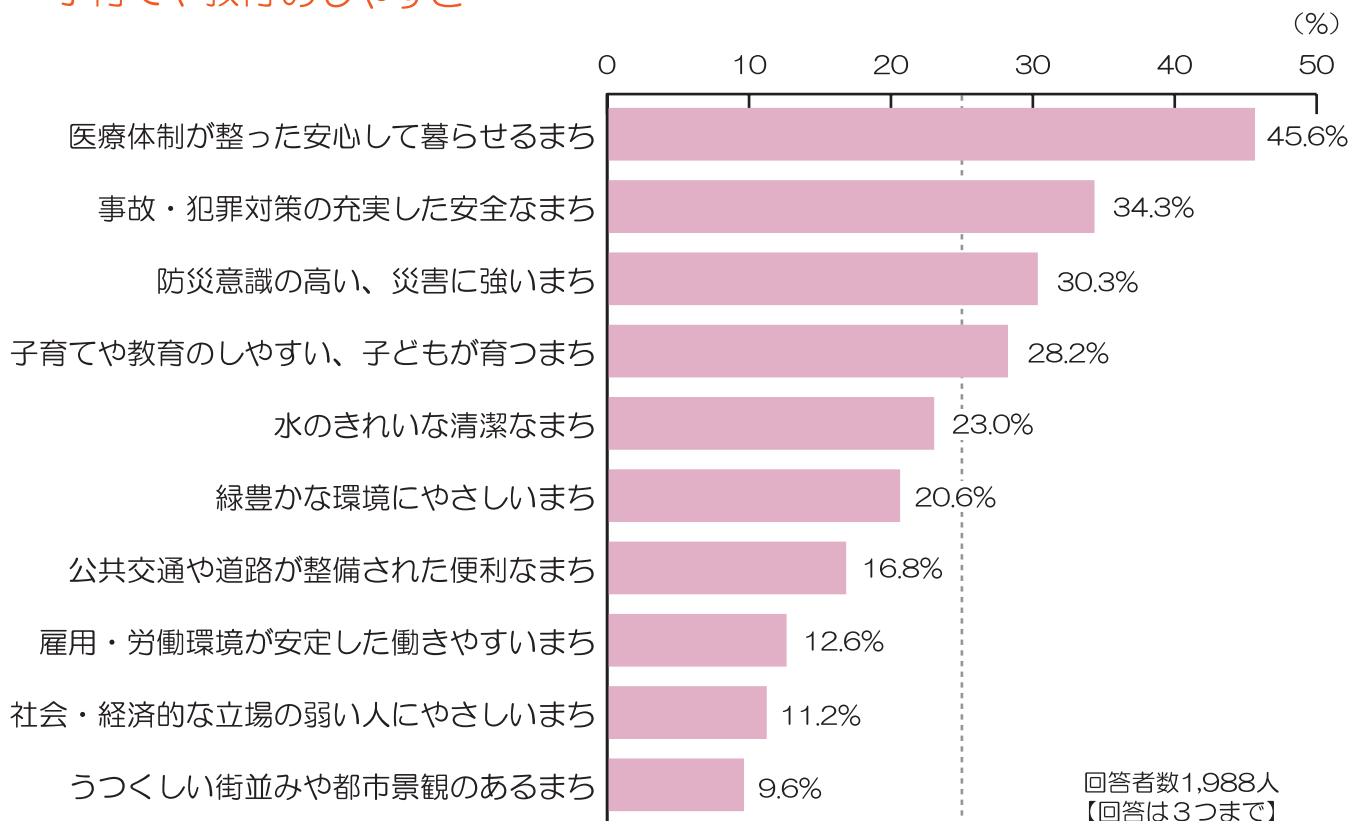
# 6 市の将来像



## 草加市の目指すべき将来像はどのようなものですか？

さまざまに変化していく時代のなかで、草加市がどのような都市を目指していけばいいのかお聞きしました。

- 整った医療体制
- 事故・犯罪対策、災害対策の充実
- 子育てや教育のしやすさ



### 草加市民アンケートについて

草加市では市民の皆様の市政に関する意見を把握するため、昭和40年から市民アンケート（市民意識調査）を実施しています。第31回となる平成26年度では「市のイメージ・将来像」「国指定名勝」「市の生活環境全般」「草加市の施策」についてご意見をうかがいました。この調査結果は今後の市政運営の基礎資料として活用していきます。

#### 調査の概要

調査対象：市内在住の満20歳以上の男女個人  
対象者数：3,500人  
標本抽出：住民基本台帳から無作為抽出  
調査期間：平成26年11月4日～11月25日

調査方法：郵送法（郵送配布—郵送回収法  
ハガキによる督促1回）  
回収数：1,988件  
回収率：56.8%

※調査結果の数値は原則として回答の比率（%）で表記しています。集計は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。

※複数回答できる設問では、数値の合計が100%を超えることがあります。

平成26年度 草加市民アンケート 概要版  
平成27年3月

発行 草加市役所 市長室広聴相談課  
〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号  
電話 048-922-0566（直通）

調査実施 株式会社 アイアールエス  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目16番11号  
電話 03-3357-7181